



人の輪と集落の和

平成25年度事業報告書 平成26年度事業計画書



農事組合法人 酒人ふあ〜む URL <http://www.sakoudo.jp/>

目 次

○ ごあいさつ	1
○ 第15回通常総会次第	2
○ 第15回通常総会提出議案	3
○ 平成25年度事業報告書	
部門別事業報告	4～13
貸借対照表	14
損益計算書	15～17
平成25年度剰余金処分案	18
附属明細書	19～20
監査報告書	21
○ 第六次3ヵ年事業計画	22
○ 平成26年度事業計画書	23～30
○ 議案資料	31～32
○ 組織図	33
○ 組合員名簿	34

組合員のみなさまへ

第15回通常総会を開催するにあたり一言ごあいさつを申し上げます。

第5次3ヶ年計画の仕上げの年であり、その基本テーマ「選択」と「集中」のもと起立した「理念」と「基本方針」を再検証し、組合員との約束事項の履行状況の再チェック、併せて積み上げた15年における酒人ふぁ～むの経営資源の総棚卸を行い、当組合の「強み」と「弱み」を整理することができた年度であったと思われまふ。

ちなみにその強みとは、申すまでもなく組合員の絆と連帯であり、その一つが創立来、悲願であった三倍増資による自己資本比率の大幅な引き上げを、次世代のために「あ、うん」の呼吸で成せたことです。このことは、今後のふぁ～むの経営にとって大きな「強み」になると同時に、増やしても減らさない経営力が求められます。

一方弱みについては、作ったら売れる時代は遠に過ぎ、主力である「米」が主食の座を「パン」に奪われているにもかかわらず、酒人ふぁ～むとして何の対応・対処策も打ち出せずにいる我々経営陣の非力さであります。集落営農法人のミッションを再検証するなかでマーケティング力と営業力の脆弱さを思い知らされたのと、売価に見合ったコストで生産する「生産技術」の未熟さにつきます。併せて第5次3ヶ年に謳われたプロによるプロ経営体構想が、組織経営体であることを時には忘れさせてしまったことも「弱み」の要因の一つであることを認識しました。

成せば為る、成さねば為らぬと若手経営陣に引っ張られたのと、月次検討理事会に25年度より監事陣も出席いただきタイムリーな要点アドバイスを賜ったことが今年度の結果に繋がったことを報告申し上げ、部門ごとの詳細は担当理事より説明いたします。

「やりたいこと」と「やれること」の整理をつけ、「やれないこと」には手を出さず、農村社会を構成し支える一員として、私ども酒人ふぁ～むは、その理念でもある「人の輪」のもと、ユネスコの無形文化遺産に登録された「和食」が、ご飯（コメ）を中心に漬物と一汁三菜が基本であることから、改めて穀類を見直し、「米」への原点回帰をスローガンに、第6次3ヶ年計画では、勝つためのマーケティング機能の強化と営業力の増強を謳い、地域農業を支え、集落の発展に貢献できる組織として精進してまいることを表明し、組合員の更なる連帯をお願い申し上げます。

平成26年2月23日

人は、人の為に成らずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふぁ～む

代表理事

福西義幸

第15回通常総会次第

と き：平成26年2月23日（日）

午後2時より

ところ：大河原温泉「かもしか荘」

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

（ 休 憩 ）

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	56人	出席人数	人
------	-----	------	---

第15回通常総会提出議案

- 第1号議案 平成25年度事業報告について
平成25年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、
剰余金処分案及び附属明細書の承認について
P 4～P 21
- 第2号議案 第六次3ヵ年事業計画
(平成26年度～平成28年度)
および平成26年度事業計画の承認について
P 22～P 30
- 第3号議案 定款変更(案)
組合員規定(案)の承認について
P 31～P 32
- 第4号議案 出資金の増資承認について
P 31
- 第5号議案 役員報酬(手当)枠の承認について
P 31
- 附帯決議 この総会において決議した事項のうち、行政庁に
提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、そ
の趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事
会に一任する。

以上のとおり上程いたします。

平成26年2月23日

農事組合法人 酒人ふあ～む
代表理事 福西 義幸

平成25年度事業報告書

部門別事業報告

生産部

[栽培]



栽培の観点から25年度を振り返って見ると、水稻については、今年度より県の新品種「みずかがみ」をいち早く取り入れ、作期分散が図れました。また、昨年度から取り組みましたフレコン出荷も順調に進みましたが、当初の計画した収穫数量を確保することが出来ませんでした。栽培管理の中で特に除草剤の使用においては、環境こだわり農産物の関係もありますが、適期

散布が出来ず、雑草に負けた圃場がありました。次年度においては使用薬剤と回数・散布時期等を考慮していきます。品質面においては、乳白等の発生により一部において2等になり結果として計画を大きく下回りました。

稲わら供給事業は、水稻の収穫後の天候にも恵まれ、大区画圃場を中心に収束することが出来、昨年と同様経営収支に貢献することが出来ました。

麦については、生育当初は、生育遅れから、刈り取りが遅れる予測でしたが、その後順調に推移する中で、昨年と同様の数値(6俵)となりました。今後もこの数値を維持していきたいと思えます。

大豆については、9月中旬の台風18号の影響により、倒伏等を招きその後の防除が出来ず全般的に紫斑病や虫害の発生が多く見られました。又、少雨により一部の圃場において立ち枯れ等が発生しました。ただ、種子大豆選別において、汎用制のある大豆色彩選別機の導入は大いに役立ち、最後の磨きをすこやか営農グループの皆様連日かけて頂きましたが、倒伏時における防除体制の検討が必要であると感じました。

前年度から実施された畑作物(麦・大豆)の所得補償交付金は、数量と品質両面において評価されることから、より安定した栽培管理に努める必要性を感じました。

野菜については、少量多品目への取組、契約栽培品目への取組により数多くの出荷と収入を得ることができたことは、両グループのそれぞれの作物において精一杯の取組をしていただいた結果です。特に、露地いちじくや下田なすにおいては、両グループとも当番制による毎日収穫・出荷が実を結び、計画以上の収入を確保出来ました。また、今年度より大きく取り組んだ菊については集落内においても多くの利用をいただきました。ただ、25年度の秋冬野菜においては、台風の影響により根の伸びが悪く白菜・キャベツにおいて収量減になると予想されます。酒人ふぁ〜むとして日々の現金収入を支えているのは野菜栽培であることは事実であり、現金収入のアップには必要不可欠であります。



①穀類生産実績

水 稲	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
うるち玄米	2000.4	102,000	1,700.0	8.5	2000.4	88,551	1,476	7.4
もち(羽二重)玄米	297.7	14,290	238.0	8.0	297.7	13,246	221	7.4
合 計	2,298.1	116,290	1,938.0	8.4	2298.1	101,797	1,697	7.4

小 麦	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
農林61号	1,709.7	51,291	855	5.0	1,709.7	61,762	1,029	6.0
合 計	1,709.7	51,291	855	5.0	1,709.7	61,762	1,029	6.0

大 豆	計 画				実 績				
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反	
ふくゆたか	種子用	1,074.7	19,344	322	3.0	1,148.4	16,320	272	2.5
	一般用	635.0	13,335	222	3.5	487.3	5,800	96	2.0
合 計		1,709.7	32,679	544		1,635.7	22,120	368	

※ 種子用大豆は検査予定数量 一般大豆は予定数量です。

②野菜栽培形態別生産実績 (年間)

露 地	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	箱・kg	箱/反		収量 (kg)	箱・kg	箱kg/反
ブロッコリー	20.0	1,000	333箱	166箱	30.0	1,176	392箱	196箱
白 菜	30.0	9,000	600箱	200箱	30.0	25,272	1,530ケース 2322kg	8,424kg
キャベツ	30.0	12,000	60コンテナ	20コンテナ	30.0	18,610	15,000kg 361ケース	6,200kg
いちじく	23.6		3450パック	1500パック	23.6		4,300パック	1,800パック
白ねぎ	15.0	6,750	450箱	300箱	15.0	5,910	394箱	260箱
下田なす					2.0	425	1700袋	850袋
小菊					4.0		1,435束	

※その他冬南瓜・玉ねぎ 青ねぎ・里芋・しょうが等の作物を栽培しました。

※実績数値については、出荷日ベースでの生産量を上げています。

ハ ウ ス	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	袋・箱	袋箱/a		収量 (kg)	袋・箱	袋箱/a
小 松 菜	12.0	1,440	7,200袋	600袋	20.0	2,318	11,594袋	579袋
ト マ ト	4.0	1,600	400箱	100箱	0.0		箱	
いちじく	3.0		200パック		3.0		袋	
くん炭							70袋	

※実績数値については、出荷日ベースでの生産量を上げています。

③耕畜連携稲わら生産実績（JA稲わら生産供給組合）

稲わら	計 画				実 績			
	採集 面積 (a)	生産量			採集 面積 (a)	生産量		
		収集量 (kg)	梱包 (7kg)	梱包/反		収集量 (kg)	梱包	梱包/反
飼料用稲わら	1,200	33,600	4,800	40	1,000	38,322	6,006	60
合 計	1,200	33,600	4,800	40	1,000	38,322	6,006	60

実績…パレットによる重量出荷

[労 務]

「我が集落は我が集落民で守る」を合言葉に頑張っておりますが、組合員の協力体制等について今後の対策が必要と考えられます。

25年度は水稻の除草作業や白葱の収穫・調整作業に手作業が増加し計画より労働時間が増加しました。

すこやか、なごやか営農グループの皆様方にはチームワーク良く作業をしていただきました。

労働力の体制整備中のなかで取り組んだ結果が下表の通りです。

労務管理実績表

(単位：時間)

	計画	実 績					計画比 (%)	
		役員・OP	すこやかG	なごやかG	その他	合計		
穀類	水 稻 (8品種)	2,470	3,059	193		45	3,297	133.5%
	稲わら生産収集	480	252	119			371	77.3%
	小 麦 (農林61号)	650	713				713	109.7%
	大 豆 (種子・一般食糧)	3,000	744	2,552		10	3,306	110.2%
	計	6,600	4,768	2,864	0	55	7,687	116.5%
野菜	露 地 (5品種)	4,500	1,954	3,607	145		5,706	126.8%
	ハ ウ ス (2品種)	1,700	115		1,513	7	1,635	96.2%
	計	6,200	2,069	3,607	1,658	7	7,341	118.4%
共 通 (営業・事務・機械施設管理)	1,200	1,133	160			1,293	107.8%	
合 計	14,000	7,970	6,631	1,658	62	16,321	116.6%	

※25年度(1～12月)に投下した時間実績

営 業 部

平成25年度におきましては、米作は猛暑等の影響により売上が落ち込みましたが、麦作は販売単価が上がり予算を上回ることが出来ました。また、各グループの活躍により野菜の売上が昨年実績のほぼ倍増にはなりましたが、収益につきましては生産部と連携を組み増収を目指してまいります。

①穀類市場（マーケット）別実績

水 稻		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	うるち玄米	1,000	14,000	14,000	918	11,776	10,810	77%
	もち(羽二重)玄米	218	14,900	3,250	211	13,934	2,940	90%
	過年度精算						2,729	
	小 計	1,218	14,162	17,250	1,129	12,179	16,479	96%
直 販	うるち玄米	650	16,800	10,900	513	16,661	8,547	78%
	もち(羽二重)玄米	20	21,000	420	10	20,400	204	49%
	小 計	670	16,925	11,320	523	16,732	8,751	77%
合 計		1,888	15,143	28,570	1,652	13,620	25,230	88%

小 麦 農林61号		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販		855	1,170	1,000	1,029	1,523	1,568	157%
過年度精算							1,699	
直 販								
合 計		855	1,170	1,000	1,029	1,523	3,267	327%

大 豆 ふくゆたか		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	種 子 用	322	26,708	8,600	272	27,000	7,488	87%
	食 糧 用	222	3,018	670	96	3,000	288	43%
	過年度精算						2,231	
	小 計	544	17,040	9,270	368		10,007	108%
直 販	種 子 用							
	食 糧 用							
	小 計							
合 計		544	17,040	9,270	368		10,007	108%

機 械 施 設 部

長年続いていきます生産調整に沿って政府がいろいろな政策を打ち出し、それに沿った機械等の導入をしてまいりましたが、政府が米政策の見直しを打ち出しました。まだ詳細ははっきりしておりませんし、それに対する補填がどうなるのかも明確になっておりません。また、T P P交渉も流動的なため、今後の政策の動向を注視し、それに沿った機械、設備投資を検討していかなければならないと思います。

色彩選別機におきまして、今まで大変でした大豆の選別作業が、大幅に改善されました。また、この選別機は、大豆だけでなく玄米・白米にも対応できますので、米の一般販売にむけての営業活動の幅も広がることと思います。

農機具の修繕費が毎年高額になっております。これは使用年数が長い機械が増えていることが大きく起因しています。ただ、機械の取り扱いにおいては「組合の機械でなく自分の機械である」という意識で、大切に取り扱いしていきます。

更新時期が近づいている機械が増えてきているため、資金面も含め企画管理部と調整を行っていきます。

① 「経営体育成支援事業」による機械導入（税込）

平成26年2月末導入

物 件	台	取得額	※1 補助金	※2 借入額	自己資金
野菜移植機	1	630,000	180,000	300,000	150,000
ペレット成形 乾ペレくん	1	1,627,500	465,000	1,162,500	0

※1 経営体育成条件整備（融資主体型）補助金にて、借入が条件になるもの。

※2 JAのアグリマイティー資金を活用する。

② 「大豆・麦等生産体制緊急整備事業（リース事業）」による機械導入（税込）

物 件	台	取得額	補助金	※1 リース料
クリーンシーダー RXG-10SEA	2	2,120,328	925,000	1,195,328
色彩選別機 CLX-502DM	1	3,669,120	1,600,000	2,069,120

※1 リース業者 滋賀コープサービス株式会社

③ 25年度野菜生産用機械購入事業による導入（税込）

物 件	台	取得額	補助金	自己資金
ヤンマー管理機MK65DXLRU4M1	1	346,500	50,000	296,500

④ 自己資金による購入（税込）

物 件	台	取得額	自己資金
軽自動車ダイハツハイゼットカーゴ	1	1,000,000	1,000,000

【平成25年度来視】

月 日	来 視 先	内 容	人数
2/17	淡路市河内営農組合	先進事例視察	36
2/22	岡山県矢掛町認定農業者協議会	先進事例視察	22
2/26	姫路市山田町多田 西多田営農組合	先進事例視察	25
3/9	近江八幡市安土町 農事組合法人粒良ファーム中屋	先進事例視察	25
3/17	J A全中、J A滋賀中央会、大原学園グループ	調査	6
3/18	八尾市楠根川沿岸第二土地改良区	先進事例視察	18
3/20	J A兵庫西集落営農組織協議会	先進事例視察	26
3/27	刈谷市猿渡地区営農改善組合	先進事例視察	21
5/28	福井県坂井市坂井地区農業農村整備事業推進協議会	先進事例視察	35
5/29	農林水産省経営政策課長ほか	人・農地プラン現地調査	8
6/6	韓国慶尚北道農政局・南九州大学姜教授	先進事例視察	25
6/8	韓国協同組合研究所	先進事例視察	11
6/18	総務省総務事務官、外務省外務事務官、東京少年鑑別所法務技官	新人職員研修視察	3
6/19	京都府相楽郡精華町	視察事前打合せ	7
6/24	J A全中 担い手・農地対策課	調査	2
7/27	石川県小松市四ヶ谷会	先進事例視察	14
8/7	趙亜夫氏（中国全人代代表）農文協	営農視察	3
8/11	京都府相楽郡精華町	先進事例視察	35
8/30	兵庫県加古川市稲美町農業振興協議会	先進事例視察	7
9/1	岐阜県羽島市桑原町小藪営農組合	先進事例視察	24
9/7	韓国江原道 農業技術院	先進事例視察	26
9/26	J Aグリーン大阪営農研究会	先進事例視察	35
9/30	農林水産省農村振興局ほか	調査、候補地視察	6
11/4	長浜市西浅井町八田部オペレーターG	先進事例視察	15
11/17	農事組合法人こうか高野	先進事例視察	27
	福井県あわら市農業組合法人滝生産組合	先進事例視察	23
11/18	J A北大阪営農不動産部会千里支部	先進事例視察	23
11/26	石川県加賀農業振興協議会	先進事例視察	24
11/28	近畿農政局局長	現地調査	3
12/3	石川県七尾市飯川地区ほ場整備組合	先進事例視察	15
12/4	J A北大阪営農不動産部会岸部支部	先進事例視察	17
12/6	J A大阪中河内・松原地区実行組合長会	先進事例視察	23
12/7	兵庫県川西市農事組合法人玉野町営農組合	先進事例視察	20
12/13	佐賀県佐城農業改良普及センター	先進事例視察	1
合 計	34先（前年度比 - 13先）	611人（前年度比 - 269人）	

【平成25年度講師派遣】

月 日	派 遣 先	主 催	内 容
2/16	安曇川公民館	高島地域農業センター	高島農業振興大会
3/17	北内貴公民館	北内貴営農組合	講演
4/16	JALレーク大津	JALレーク大津	講演
7/18	忍の里プララ	甲賀市農業委員会	意見交換
11/9	下余呉集会所	JAL北びわこ	法人化相談

【平成25年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1/23	次世代農業経営者講座	林信	講義意見交換
1/29	6次産業経営力向上セミナー	伴	講演事例発表
	アグリ・エコビジネスセミナー	林信	講演会
1/30	日本政策金融公庫農業経営者交流会	千廣	講演会交流会
2/2	JALこうか特別栽培米生産部会	伴	総会推進大会
	甲賀地域農業者のつどい	福西ほか	講演事例紹介
2/6	環境こだわり農産物にかかる説明会	伴	説明会
2/8	「みずかがみ」栽培研修会	伴	研修会
2/13	花野果倶楽部	すこやかGなごやかG	視察研修
2/19	JALこうかいちじく生産部会	伴	研修会
2/21	近畿産業連携ネットワーク連絡会議	林信	講演
2/25	近畿府県農業法人組織現地交流会	伴	交流会
2/26	近畿産大豆生産・需要拡大協議会シンポジウム	西村	講演
2/28	甲賀地域野菜栽培研修会	伴	研修会
3/3	農業機械オペレーター研修会	山領	研修会
	農業経営者セミナー	役員多数	講演
3/6	麦現地圃場研修会	伴	研修会
3/11	経営構造対策推進研究集会	林信	講演事例報告
3/14	担い手関連事業説明会	伴ほか	説明会
3/16	花野果倶楽部	伴	総会
3/18	大規模稲作経営者部会	伴	総会
3/26	契約キャベツ出荷反省会	伴	出荷実績報告
3/26	経営改善研修会	林信	講演
4/3	「忍葱」播種作業現地研修会	林信、伴	研修会
4/11	花野果倶楽部	伴、各G長	説明会研修
4/16	JALこうかいちじく生産部会	伴、すこやかG	総会
5/29	「忍葱」圃場準備定植現地研修会	林信、伴	研修会
6/11	契約タマネギ出荷研修会	すこやかG	研修会
7/19	JALこうかいちじく生産部会	伴、すこやかG	研修会

月 日	研 修	出 席 者	内 容
7/24	「忍葱」圃場巡回現地研修会	伴	研修会
7/26	秋冬野菜栽培研修会	伴、すこやかG	研修会
7/31	稲わら生産供給組合	伴	総会
8/ 1	6次産業化を考える講演会	福西	講演
8/20	J Aこうかいちじく生産部会	林信、すこやかG	視察研修
8/22	秋作業機械オペレーター研修会	伴	研修会
9/ 6	大豆指定種子生産ほ場審査会	伴	審査会
9/19	「忍葱」圃場巡回現地研修会	伴	研修会
10/29	J Aこうか露地野菜部会	伴、すこやかG	研修会
10/30	利川市農業交流視察団	伴	視察
10/31	「忍葱」圃場巡回現地研修会	すこやかG	研修会
11/ 1	契約タマネギ出荷研修会	すこやかG	研修会
11/10	J A農業機械大展示会	伴ほか	展示会
11/19	「忍葱」出荷目合わせ会	すこやかG	規格目合わせ
	大豆指定種子生産ほ場審査会	伴	審査会
11/20	タキイ種苗冬季研修会	梶、すこやかG、なごやかG	研修会
11/26	水口町露地野菜部会	すこやかG、伴	秋冬野菜出荷

※「生活協同組合コープしが」のホームページで紹介いただきました。

田植え稲刈り体験「田植え企画」報告

開催日 5月18日(土) 10:00~14:00

開催場所 農業組合法人 酒人(さこうど)ふぁ〜む(甲賀市水口町酒人30-1)

参加人数 大人35人 子ども33人

内容

- ・ 田植え体験
- ・ 大型機械での植え付け見学(有志だけのオプション)
- ・ 昼食 近江米新品種“みずかがみ”を試食しました!
- ・ 参加者が考えてきた質問・クイズで生産者と交流
- ・ 参加した子どもから生産者への質問(抜粋)
 - ・ 一番たいへんな作業は何ですか?
 - ・ 滋賀県で一番たくさん収穫できるお米の品種は何ですか?
 - ・ 美味しいお米、好きなお米、一番高額なお米は何ですか?
 - ・ お米ともち米は育て方が違うのですか? など



参加者の感想(アンケートより抜粋)

「裸足でドロの中に入るなんて今まで無かった私も娘も、初めての体験ですごく楽しかったです。お米に関することもクイズ形式でわかりやすく教えてもらい、とても勉強になりました。お天気にも恵まれ満足な企画でした。」

「田植え体験は子どものうちに体験させてやりたかったけど、なかなか体験する機会が無かったので今回参加体験できて良かったです。直接生産者さんのお話を聞いたのも良かったです。」

「安心・安全なお米を作って下さっている方々とふれあい、あらためてお米のありがたさを感じました。子どもを大型農機に乗せて下さったり、酒人ふぁ〜むで育てている作物を知ることもできて良かったです。今日植えた苗を秋に収穫できるのを楽しみにしています。」

企画管理部

【主に取り組んだ内容】

① 小学生による農業体験

小学生PTAの全面協力のもと、田植え、稲刈り、もちつき（収穫感謝祭）を実施しました。田んぼに入ることのない子供たちにとって良き体験となり、今後も継続してまいります。関係各位のご協力ありがとうございました。



② 「収穫感謝祭 2013」開催

今年度は、「里芋詰め放題」「豚汁」「もちつき」が好評で、「酒人市」も早期に完売となり大盛況でした。ご来場ありがとうございました。



③ 視察受け入れ状況

年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
先	8	17	9	22	46	104	134	82	75	74	50	50	47	34
人	247	403	267	408	918	1,760	2,494	1,439	1,336	974	736	928	880	611

これまでに、延べ752団体、13,401人の方が来村されました。

④ 今年度の掲載記事

メディア	月日	内 容
農業協同組合新聞	1/10	日本農業の未来を創る元気なJA・JAこうか
日本共済新聞	9/16	生協利用者ら稲刈り交流

⑤ 従事分量配当の完全前払い

各協力組織への従事分量配当金の支払い方法を、一部実施していた翌月前払制に完全移行しました。事務量は若干増えましたが、出役いただいた方に早期に報いることで意欲高揚の一因となっています。



貸借対照表

農事組合法人酒人ふぁーむ

平成25年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	59,748,998	【流動負債】	20,402,849
現 金 ・ 預 金	28,538,693	未 払 金	11,134,631
売 掛 金	11,596,918	預 り 金	8,893,114
農 産 物	175,210	リ ー ス 債 務	302,904
棚 卸 品	813,234	未 払 法 人 税	72,200
未 収 金	2,386,324	【固定負債】	59,806,847
仮 払 金	16,238,619	長 期 借 入 金	39,745,000
【固定資産】	46,135,626	長 期 リ ー ス 債 務	1,514,520
【有形固定資産】	45,127,602	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	18,547,327
建 物	44,615,395	負債の部合計	80,209,696
構 築 物	3,820,382	純資産の部	
機 械 装 置	19,694,157	【資本金】	4,480,000
農 機 具	35,863,008	出 資 金	4,480,000
車 両 運 搬 具	3,528,940	【利益剰余金】	21,194,928
工 具 器 具 備 品	1,039,500	利 益 準 備 金	4,480,000
減 価 償 却 累 計 額	△70,472,179	当 期 未 処 分 剰 余 金	16,714,928
土 地	2,844,363		
リ ー ス 資 産	4,194,036	純資産の部合計	25,674,928
【投資その他の資産】	1,008,024	負債・純資産合計	105,884,624
外 部 出 資 金	50,000		
差 入 保 証 金	8,070		
保 険 積 立 金	949,954		
資産の部合計	105,884,624		

損益計算書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【事業損益の部】		
【事業収益】		
【販売高】		
販 売 高	47,953,383	
奨 励 助 成 金	22,299,192	
販 売 高 合 計		70,252,575
【事業費用】		
【生産原価】		
当 期 商 品 仕 入 高	442,389	
期 首 農 産 物 棚 卸 高	119,700	
当 期 農 産 物 原 価	41,239,976	
合 計	41,802,065	
期 末 農 産 物 棚 卸 高	175,210	
事 業 原 価	41,626,855	41,626,855
事 業 総 利 益		28,625,720
【事業管理費】		
事 業 管 理 費 合 計	3,945,609	3,945,609
事 業 利 益		24,680,111
【事業外損益の部】		
【事業外収益】		
受 取 利 息 等	3,658	
雑 収 入	1,524,799	
事 業 外 収 益 合 計		1,528,457
【事業外費用】		
支 払 利 息	418,986	
事 業 外 費 用 合 計		418,986
経 常 利 益 金 額		25,789,582
【特別損益の部】		
【特別利益】		
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 取 崩 益	2,518,710	
特 別 利 益 合 計		2,518,710
【特別損失】		
固 定 資 産 圧 縮 損	2,518,708	
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 入	8,963,256	
特 別 損 失 合 計		11,481,964
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		16,826,328
法 人 税 等		111,400
当 期 純 利 益 金 額		16,714,928

事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
福 利 厚 生 費	132,480	
教 育 ・ 研 修 費	86,500	
広 告 宣 伝 費	201,225	
旅 費 交 通 費	18,694	
通 信 費	151,331	
交 際 費	957,114	
諸 会 費	164,150	
水 道 光 熱 費	50,534	
事 務 用 消 耗 品 費	244,630	
修 繕 費	300,245	
租 税 公 課	510,222	
雑 費	702,814	
税 務 顧 問 料	425,670	
事 業 管 理 費 合 計		3,945,609

事業原価内訳書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 平成25年 1月 1日 至 平成25年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【総事業費用】		
【資材費】		
種 苗 費	3,561,532	
肥 料 費	5,930,279	
農 薬 費	1,595,725	
諸 材 料 費	632,471	
合 計	11,720,007	
資 材 費 合 計		11,720,007
【労務費】		
農 業 労 災 費	169,194	
労 務 費 合 計		169,194
【その他生産費】		
農 具 費	934,590	
作 業 委 託 料	2,728,211	
土 地 改 良 水 利 費	2,451,780	
動 力 光 熱 費	2,289,355	
修 繕 費	5,418,112	
荷 造 運 賃 発 送 費	924,365	
機 械 賃 借 料	69,500	
年 貢 料 (借 地 料)	5,166,729	
農 業 共 済 費	1,717,042	
雑 費	134,984	
減 価 償 却 費	7,516,107	
そ の 他 生 産 費 合 計		29,350,775
当 期 事 業 原 価		41,239,976
合 計		41,239,976
当 期 農 産 物 原 価		41,239,976

剰余金処分案

(単位:円)

当期末処分剰余金の処分

項 目	金 額
当期末処分剰余金の処分	16,714,928
合 計	16,714,928
これを次のとおり処分する	
従事分量配当金	16,714,928
次期繰越剰余金	0

以上のとおり報告します。

農事組合法人酒人ふあーむ

附属明細書

前期実績・事業計画実績対比

自 平成25年1月1日～至 平成25年12月31日

単位:千円

勘定科目	前期実績①		事業計画②		実績額③		前期対比③-①		予算対比③-②	
	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@
[耕作面積]	408.2		換算408.2反		換算408.2反					
		408.2		408.2		408.2		0		0
[事業収益]										
[販売高]										
販売高	44,801	110	46,790	115	47,953	117	3,152	8	1,163	3
奨励・助成金	20,719	51	20,400	50	22,299	55	1,580	4	1,899	5
販売高合計	65,520	161	67,190	165	70,252	172	4,732	12	3,062	8
[事業費用]										
[期首農産物棚卸]	106		120		120		14		0	
[商品仕入高]	347		370		442		95		72	
[資材費]										
[生]種苗費	4,045	10	4,070	10	3,562	9	-483	-1	-508	-1
[生]肥料費	5,682	14	6,200	15	5,930	15	248	1	-270	-1
[生]農薬費	2,260	6	2,460	6	1,596	4	-664	-2	-864	-2
[生]諸材料費	924	2	1,020	2	632	2	-292	-1	-388	-1
生産資材費合計	12,911	32	13,750	34	11,720	29	-1,191	-3	-2,030	-5
[労務費]										
[生]農業労災費	133	0	170	0	169	0	36	0	-1	0
労務費合計	133	0	170	0	169	0	36	0	-1	0
[その他生産費]										
[生]動力光熱費	1,915	5	1,950	5	2,289	6	374	1	339	1
[生]農具費	0	0	0	0	935	2	935	2	935	2
[生]修繕費	5,549	14	6,130	15	5,418	13	-131	0	-712	-2
[生]機械賃借料	222	1	350	1	70	0	-152	0	-280	-1
[生]年貢料(借地料)	5,139	13	5,140	13	5,167	13	28	0	27	0
[生]作業委託料	2,817	7	2,800	7	2,728	7	-89	0	-72	0
[生]土地改良水利費	2,452	6	2,453	6	2,452	6	0	0	-1	0
[生]農業共済費	1,592	4	1,630	4	1,717	4	125	0	87	0
[生]機械リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造運賃送料	627	2	630	2	924	2	297	1	294	1
[生]雑費	117	0	150	0	135	0	18	0	-15	0
[生]減価償却費	5,756	14	6,000	15	7,516	18	1,760	4	1,516	4
その他生産費合計	26,186	64	27,233	67	29,351	72	3,165	8	2,118	5
[期末農産物棚卸]	120		200		175		55		46	
事業費用合計	39,563	97	41,443	102	41,627	102	2,064	5	184	0
[事業総利益]	25,957	64	25,747	63	28,625	70	2,668	7	2,878	7
[生]労務費(従事分量配当)	14,412	35	15,000	37	16,715	41	2,303	6	1,715	4
[改め事業総利益]	11,545	28	10,747	26	11,910	29	365	1	1,163	3
[事業管理費]										
事業管理費合計	3,974	10	4,200	10	3,946	10	-28	0	-254	-1
[事業利益]	7,571	19	6,547	16	7,964	20	393	1	1,417	3
[事業外損益]	480	1	696		1,109	3	629	2	413	3
[経常利益]	8,051	20	7,243	18	9,073	22	1,022	3	1,830	4

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

平成25年度事業実績明細表

自 2013/1/1 ~ 至 2013/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	その他	合計
[耕作面積]	229.8反		171.0反		171.0反		11.9反		3.3反				408.2反
[事業収益]													
農産物売上高	25,230	110	3,267	19	10,007	59	5,943	499	633	192	0	0	45,081
その他売上高	2,182	9	0	0	0	0	561	47	0	0	2,692	-2,562	2,873
奨励助成金	4,666	20	12,288	72	5,190	30	138	12	18	6	0	0	22,299
売上高合計	32,078	140	15,555	91	15,197	89	6,641	558	651	197	2,692	-2,562	70,253
事業原価													
期首棚卸	120		0		0		0		0		0	0	120
商品仕入高	0		0		0		442		0		0	0	442
[資材費]													
[生]種苗費	2,562	11	531	3	633	4	534	45	16	5	1,848	-2,562	3,562
[生]肥料費	2,298	10	2,745	16	148	1	727	61	14	4	0	0	5,930
[生]農薬費	999	4	474	3	-24	-0	139	12	7	2	0	0	1,596
[生]諸材料費	115	1	20	0	52	0	339	28	107	32	0	0	632
資材費合計	5,974	26	3,770	22	809	5	1,738	146	144	43	1,848	-2,562	11,720
[労務費]													
[生]労災保険費	98	0	32	0	32	0	5	0	2	1	0	0	169
労務費合計	98	0	32	0	32	0	5	0	2	1	0	0	169
[経費]													
[生]動力光熱費	1,328	6	435	3	435	3	69	6	23	7	0	0	2,289
[生]農具修繕費	3,587	16	1,137	7	1,137	7	323	27	170	51	0	0	6,353
[生]機械賃借料	57	0	3	0	3	0	6	1	0	0	0	0	70
[生]年貢料(借地料)	2,997	13	982	0	982	6	155	0	52	16	0	0	5,167
[生]作業委託料	0	0	1,928	11	800	5	0	0	0	0	0	0	2,728
[生]農業水利費	1,359	6	506	0	506	3	70	6	12	4	0	0	2,452
[生]農業共済費	549	2	486	3	644	4	28	2	9	3	0	0	1,717
[生]生調拠出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造発送費	36	0	0	0	35	0	764	64	89	27	0	0	924
[生]雑費	79	0	25	0	25	0	4	0	1	0	0	0	135
[生]減価償却費	4,359	19	1,428	8	1,428	8	225	19	75	23	0	0	7,516
経費合計	14,350	62	6,929	41	5,995	35	1,645	138	431	131	0	0	29,351
期末棚卸	175		0		0		0		0		0	0	175
事業原価合計	20,367	89	10,731	63	6,836	40	3,831	285	576	175	1,848	-2,562	41,627
事業総利益	11,711	51	4,824	28	8,361	49	2,810	236	75	23	845	0	28,626
[生]労務費	6,011	26	1,395	8	2,826	17	5,249	441	1,233	374	0	0	16,715
改め事業総利益	5,700	25	3,428	20	5,535	32	-2,439	-205	-1,158	-351	845	0	11,911
[事業管理費]	2,288	10	750	4	750	4	118	10	39	12	0	0	3,946
事業利益	3,412	15	2,679	16	4,785	28	-2,557	-215	-1,198	-363	845	0	7,965
[事業外損益]	643	3	211	1	211	1	33	3	11	3	0	0	1,109
経常損益	4,055	18	2,889	17	4,996	29	-2,524	-212	-1,187	-360	845	0	9,075

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

監 査 報 告 書

平成 26 年 2 月 16 日

農事組合法人酒人ふぁ～む
代表理事 福西 義幸 様

監 事 小林 伊佐治 ⑩

監 事 坂田 精平 ⑩

私たち監事は、平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの第 12 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

第六次 3 カ年事業計画（平成 26 年度～平成 28 年度）

〔基本テーマ〕

第一次 3 カ年（11 年～13 年）

「夢・創意・挑戦」 時代にマッチした農業経営

第二次 3 カ年（14 年～16 年）

「決断」と「実行」 「づくり」の時期

第三次 3 カ年（17 年～19 年）

「自立」と「自律」 夢（ビジョン）の具現化

第四次 3 カ年（20 年～22 年）

「農村」と「環境」 「生きていく」新たな挑戦

第五次 3 カ年（23 年～25 年）

「選択」と「集中」 安定経営への基盤構築

第六次 3 カ年（26 年～28 年）

「変革」と「創造」 自己変革で第二の創業

〔理念〕

1. 人づくり
2. 組織づくり
3. 産地づくり
4. 地域づくり
5. お客様づくり

〔基本方針〕

1. 持続可能な組織体制の確立
2. 責任の明確化と意識の改革
3. 販路の拡大と営業力の強化
4. 人材の育成と後継者の育成
5. 利益配当できる財務基盤の確立
6. 地域農業者との連携強化

設立 15 周年を迎えましたのも、組合員はじめ関係各位のご支援ご鞭撻のおかげと御礼申しあげます。酒人の農地と農業を守ることを目的に、事業を展開してまいりましたが、その手段としての組織体制は徐々に経年疲労しつつあり、見直しが余儀なくされています。

栽培技術や販売方法など培ってきた技能が、現世代だけでなく次世代の担い手に受け継がれる仕組みを確立してまいります。

今までのやり方を変える勇気を持ち、これからの 15 年に向けて、持続可能な組織を創造してまいります。ご協力よろしくお願い申し上げます。

平成26年度事業計画書

生産部

26年度より新たな農業・農村政策が始まり 25年度と比較して4つの改革としての制度見直しが行なわれました。ただ、農業を成長産業とされても、条件付ではあるが昨年3月にTPPへの交渉参加が正式に表明され、今尚 混沌とした状態が続いており、場合によっては農業の根幹を崩され、法人の存続を脅かす状態にあります。

新政策や農業情勢を的確に把握しつつ、日本古来の「和食」文化の根幹である穀類生産に今まで以上に生産技術を注入し、攻めの農業を考え、地域を担っている農業法人としての誇りと使命をもって取り組みます。

栽 培

- ・営業部との両輪で「売るために作る」「求められているものを作る」をスローガンに安全、安心、顔の見える新鮮な食材を生産します。
- ・機械施設部と連携した農機の効率稼働による生産コスト削減に努めます。
- ・各グループとの連携をとり、野菜、果樹の栽培により力を入れます。

[重点方針]

1. 品質・環境に配慮した農業
減化学肥料、減農薬栽培技術の修得及び無農薬・無化学肥料への取組
2. 売価に見合った生産原価
コスト意識と営業意識の徹底
3. 的確な栽培管理
生育ステージに見合った的確な対応の強化
4. 新品種、新規作物・新技術の導入（少量多品目栽培の取組）
水稻（みずかがみ）・産直への取組強化・いちじく栽培技術の向上
5. 次世代への栽培技術の継承

[事業計画]

① 26年度穀類生産計画

水稻		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
	うるち玄米	1767.7	510	8.5	90,150	1,500.0
	もち（羽二重）玄米	305.0	480	8.0	14,640	244.0
	合計	2072.7	505	8.41	104,790	1,744.0

小 麦		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
	農林61号	1,895.4	300	5	56,862	947
	合計	1,895.4	300	5	56,862	947

大 豆		栽培面積 (a)	10a当り		生産量		
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)	
豆	ふくゆたか	種子用	1,319.6	180	3	23,752	395
		食糧用	503.4	210	3.5	10,571	176
	合計	1,823.0	191	3.18	34,323	571	

② 26年度野菜栽培形態別生産計画

露 地	品目	栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
	ブロッコリー	30.0	500	166箱	1,500	500箱
	白菜	30.0	5,000	333箱	15,000	1,000箱
	キャベツ	30.0	4,000	20コンテナ	12,000	60コンテナ
	いちじく	23.6		1,800パック		4,200パック
	ねぎ	30.0	2,000	200箱	6,000	600箱

ハ ウ ス	品目	栽培面積 (a)	1a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
	小松菜	20.0	130	650袋	2,600	13,000袋
	いちじく	3.0				200パック

③ 26年度耕畜連携稲わら生産計画 (JA稲わら生産供給組合)

稲 わ ら		採集面積 (a)	10a当り		生産量	
			収集量 (kg)	梱包 (7kg)	総収集量 (kg)	出荷量 (梱包)
	飼料用稲わら	1,200	280	40	33,600	4,800
	合計	1,200	280	40	33,600	4,800

労 務

効率的な作業体制確立のため、機械施設部と連携し必要なハード面での整備を行うと共に、次世代へ繋げていくために農作業のマニュアル化を図ります。

[重点方針]

1. プロらしい効率作業
2. プロが耕す農地保全
3. 農作業機械操作技術の習得

[事業計画]

- ① 作業手順の確立
- ② 就労時間が作物別収支のバロメーター
作物別労務配分の強化

【作物別労働時間計画】

(単位：時間)

	水稲		小麦	大豆	露地 野菜	ハウス 野菜	共通	合計
	栽培・ 収穫	稲わら 収集	栽培・ 収穫	栽培・ 収穫 手選別	栽培・ 収穫	栽培・ 収穫	営業・事 務・施設	
配分率	18%	3%	5%	20%	33%	12%	9%	100%
1月	40			900	340	100	110	1,490
2月	40			1,100	360	130	300	1,930
3月	60		40		250	110	90	550
4月	300		10		250	110	100	770
5月	490		150		300	150	70	1,160
6月	150		180	50	400	180	70	1,030
上期	1,080	0	380	2,050	1,900	780	740	6,930
7月	140			130	450	170	80	970
8月	120			30	460	180	70	860
9月	580	260		30	610	120	80	1,680
10月	420	160	100	40	510	130	60	1,420
11月	90		200	40	300	140	80	850
12月	90		20	480	390	160	150	1,290
下期	1,440	420	320	750	2,720	900	520	7,070
合計	2,520	420	700	2,800	4,620	1,680	1,260	14,000

営 業 部

ＴＰＰ交渉の経過を見据え、食の安全、安心を合言葉に酒人製品の近隣地域への販売を最重点に活動を行ってまいります。

また、インターネット販売をさらに有効利用できるよう、工夫してまいります。

[重点方針]

1 酒人米の販売強化

専従営業マンの育成

コンビニ等の売場での委託販売

2 野菜等、酒人製品の販売

[事業計画]

- 1 低温倉庫、精米設備の設置計画の起案
白米販売の充実（宅配等のルート開拓）
- 2 生産部との連携強化
- 3 区内直売所の検討

① 26年度穀類市場（マーケット）別販売計画

水	業 販	出荷量（俵）	出荷単価（円/俵）	販売高（千円）	
		うるち玄米	900	12,000	10,800
	もち（羽二重）玄米	214	14,900	3,188	
	小 計	1,114	12,556	13,988	
稲	直 販	販売量（俵）	販売単価（円/俵）	販売高（千円）	
		うるち玄米	600	16,600	9,960
		もち（羽二重）玄米	20	21,000	420
		小 計	620	16,065	9,960
	合 計	1,734	13,811	23,948	

小麦	業 販	出荷量（俵）	出荷単価（円/俵）	販売高（千円）
		農林61号	947	1,500
	合 計	947	1,500	1,420

大豆	業 販	出荷量（俵）	出荷単価（円/俵）	販売高（千円）	
	ふくゆたか	種子用	395	26,000	10,270
		食糧用	176	3,000	528
小 計		571	18,910	10,798	

機 械 施 設 部

米政策の見直し、T P P交渉の動向等政府の方針が明確になっていない中、補助金の削減も予想されます。政府の方針が明確になってから、「酒人ふあ〜む」の現状にあった、費用対効果を考慮した上で、投資計画の検討をしていきます。

補助金があるから導入するのではなく、本当に必要であるかを吟味し、経費を削減した低コスト農業に努めます。

[重点方針]

1. 保有資源の見直し
2. 更新機械に対する検討

[事業計画]

①機械取り扱いに対する意識改革

- ・組合の機械であるという意識でなく、自分の所有物であるという意識で取り扱う。

②各部との連携により更新計画をたてる。

投資計画

年度	投資予定資産	取得額	自己資金
26年度	畑作用粒剤散布機 ×2	366,240	366,240
	白袈側条堀り	420,000	420,000
合 計		786,240	786,240

企画管理部

[重点方針]

1. 「管理」から「企画」・「実践」に重心をおいた部内運営
2. 農業自由化への対応～安定した経営基盤の確立
3. 6次産業化への対応～当地にあった仕組みづくり
4. 魅力のある、働きがいのある組織体制づくり

[具体的実施内容]

1. 長期的に持続可能な農事組合体制の構築

世代別組織による分業体制、より多くの方が参画できる仕事の創出に努めてまいりましたが、従事分量配当の増加や不採算事業が顕著になりつつあります。酒人の農業を守りつつ、持続可能な担い手体制の構築を長期的に検討します。

- ① 組織の責任体制を明確にし、原価管理および採算意識を徹底します。
- ② 販売ルール・支払ルールを明確化し、厳格な会計処理を維持いたします。
- ③ 野菜・花卉生産の独立採算制（委託生産制）を検討します。
- ④ 組合内から新規起業者を育成し、分社化について検討します。
- ⑤ 次世代の担い手を養成し、持続可能な組織をつくります。

2. 付加価値の高い商品開発にチャレンジ

4年目となる完全有機・無化学肥料米のJAS（日本農林規格協会）の有機農産物（有機JAS）の認定取得を目指し、高付加価値商品としての地域ブランド化を図ります。

3. 組合員への利益配分の実現

組合員皆様には、多額の増資承諾をいただき、誠にありがとうございました。組合員へ従事分量配当だけでなく、出資に応える出資配当できる経営体制を目指します。

4. 地域農業者との連携強化による大規模化の研究

- ① 生産物の専門化と大規模生産による高品質・低コスト生産の実現。
- ② 機械施設の共同利用および原材料・資材の共同仕入によるコスト削減。
- ③ 地域農業者との情報・意見交換の場を増やし将来ビジョンを検討。

5. 農産物のデリバリーサービス（配達サービス）実現

地域家庭で日常必要とされる生鮮野菜・食料品の予約・配達サービスを日常的に実施できる体制を構築し、顧客へのサービス拡大と販売量拡大に努めます。

平成26年度事業計画明細表

自 2014/1/1 ~ 至 2014/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	その他	合計
[耕作面積]	207.0反		189.0反		182.0反		18.0反		3.3反				417.3反
[事業収益]													
農産物売上高	24,500	118	1,433	8	11,149	61	5,970	332	1,032	313	0	0	44,084
その他売上高	2,000	10	0	0	0	0	600	33	100	30	2,020	-2,020	2,700
奨励助成金	2,544	12	13,342	71	5,342	29	254	14	118	36	0	0	21,600
売上高合計	29,044	140	14,775	78	16,491	91	6,824	379	1,250	379	2,020	-2,020	68,384
事業原価													
期首棚卸	120		0		0		0		0		0	0	120
商品仕入高	0		0		0		250		120		0	0	370
[資材費]													
[生]種苗費	2,020	10	550	3	600	3	600	33	100	30	1,550	-2,020	3,400
[生]肥料費	2,464	12	2,952	16	302	2	824	46	108	33	0	0	6,650
[生]農薬費	1,003	5	367	2	167	1	161	9	54	16	0	0	1,750
[生]諸材料費	158	1	69	0	69	0	303	17	101	31	0	0	700
資材費合計	5,645	27	3,938	21	1,138	6	1,888	105	363	110	1,550	-2,020	12,500
[労務費]													
[生]労災保険費	99	0	32	0	32	0	5	0	2	1	0	0	170
労務費合計	99	0	32	0	32	0	5	0	2	1	0	0	170
[経費]													
[生]動力光熱費	1,334	6	437	2	437	2	69	4	23	7	0	0	2,300
[生]農具修繕費	3,480	17	1,140	6	1,140	6	180	10	190	58	0	0	6,130
[生]機械賃借料	145	1	48	0	48	0	108	6	3	1	0	0	350
[生]年貢料(借地料)	2,981	14	977	0	977	5	154	0	51	16	0	0	5,140
[生]作業委託料	50	0	2,000	11	700	4	50	3	0	0	0	0	2,800
[生]農業水利費	1,400	7	510	3	510	3	141	8	47	14	0	0	2,608
[生]農業共済費	600	3	490	3	490	3	80	4	40	12	0	0	1,700
[生]生調拠出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造発送費	0	0	0	0	0	0	450	25	180	55	0	0	630
[生]雑費	87	0	29	0	29	0	5	0	2	0	0	0	150
[生]減価償却費	4,060	20	1,330	7	1,330	7	210	12	70	21	0	0	7,000
経費合計	14,137	68	6,960	37	5,660	31	1,446	80	605	183	0	0	28,808
期末棚卸	150		0		50		0		0		0	0	200
事業原価合計	19,851	96	10,929	58	6,779	38	3,589	185	1,090	294	1,550	-2,020	41,768
事業総利益	9,193	44	3,846	20	9,712	53	3,235	180	160	48	470	0	26,616
[生]労務費	6,276	30	1,718	9	2,018	11	4,566	254	1,022	310	0	0	15,600
改め事業総利益	2,917	14	2,128	11	7,694	42	-1,331	-74	-862	-261	470	0	11,016
[事業管理費]	2,436	12	798	4	798	4	126	7	42	13	0	0	4,200
事業利益	481	2	1,330	7	6,896	38	-1,457	-81	-904	-274	470	0	6,816
[事業外損益]	403	2	132	1	132	1	21	1	7	2	0	0	696
経常損益	885	4	1,462	8	7,028	39	-1,436	-80	-897	-272	470	0	7,512

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

第3号議案 定款変更(案)・組合員規定(案)の承認について

新旧対比表

条文	旧	新	備考
第3条 (地区)	地区は、滋賀県甲賀郡水口町大字酒人の区域とする。	地区は、滋賀県甲賀市水口町酒人の区域とする。	郡→市。
第4条 (事務所)	事務所は滋賀県甲賀郡水口町大字酒人30番地1に置く。	事務所は滋賀県甲賀市水口町酒人30番地1に置く。	郡→市。
第5条 (加入)	甲賀郡農業協同組合へ加入するものとする。	甲賀農業協同組合へ加入するものとする。	商号変更のため。
第18条 (払込)	全額一時払込みとする。	原則、全額一時払込みとする。	反別を考慮し、分割払込を認める。
第29条 (議決)	(5) 団体への加入(甲賀郡農業協同組合への加入を除く。)	(5) 団体への加入(甲賀農業協同組合への加入を除く。)	商号変更のため。

第4号議案 出資金の増資承認について

現在	448 口	出資金総額	4,480,000 円
増資	886 口	増資額総額	8,860,000 円

増資後出資金 1,334 口 増資後出資金総額 13,340,000 円

(平成22年2月28日 第11回通常総会承認済)

第5号議案 役員報酬(手当)枠の承認について

役員報酬(手当)枠は、理事及び監事の昨年度における支給実績および事業実績等を考慮し、総額100万円を限度額として承認をお願いするものです。

なお、個々の役員報酬(手当)額の決定および支給方法などについては、理事会に一任頂くことに、併せて承認をお願い致します。

これまで役員手当は、従事分量配当の一部として支給してまいりましたが、税法上、経費とみなされ、従事分量配当とは分離した処理を求められています。

そのため、役員報酬は、予め総会での承認が必要となるため、今回改めて上程させていただくことになったものです。

支給額については、組合員に対する従事分量配当の実績を考慮し、かつ責任手当としての性格とのバランスをとり、慎重に検討してまいり所存です。

なお、役員手当に対する所得税は、源泉徴収させていただくこととなりますので、予めご理解とご協力をお願い申し上げます。

農事組合法人酒人ふぁーむ 組合員規定 (案)

(種 別)

第1条 この組合の組合員は、次に掲げる者とする。

- (1) 正組合員は、組合に農地を提供し、かつ組合の趣旨に応じた出資をするものとする。
 - (2) 准組合員は、正組合員以外のものとする。
- 2 生計を一にする世帯家族の代表を組合員とする。
 - 3 前項第1号の規定による組合員が死亡した場合は、相続人を組合員とみなす。

(議決権)

第2条 この組合の組合員の議決権は次のとおりとする。

- (1) 正組合員は、総会における議決権を有する。ただし、一組合員につき一議決権とする。よって、総会の招集は、正組合員のみとする。
- (2) 准組合員は、総会における議決権を有しない。

(出 資)

第3条 原則、組合員はこの組合の趣旨に応じた出資義務を負うものとする。

出資金は、原則全額一時払込みとするが、分割払いまたは配当金・地代(年貢)から控除することもできる。

(配 当)

第4条 組合員は、この組合からの従事分量配当および出資配当を受ける権利を有する。

(規 約)

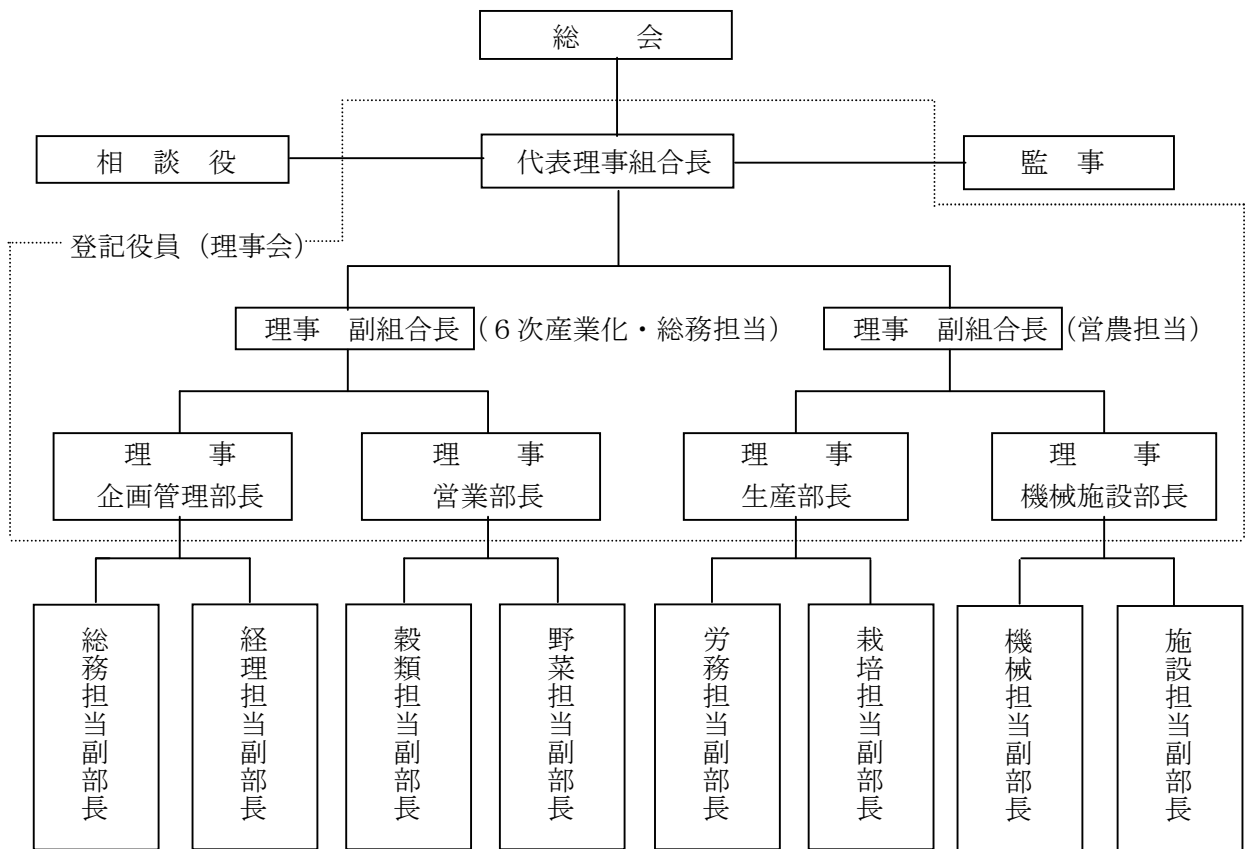
第5条 本規定は、定款第43条の「(3) 組合員に関する規定」に属し、組合員に関するその他の事項は定款に準ずるものとする。

(附 則)

1. この規定は、平成26年1月1日より施行する。

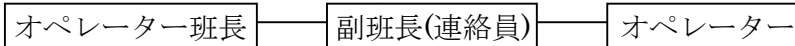
農事組合法人酒人ふあ～む組織図

平成 26 年 2 月 23 日現在



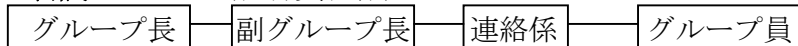
酒人ふあ～む協力組織

① オペレーターグループ (ふあ～む直轄)



☆酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で営農意欲のある 20 歳以上 55 歳以下の男子 (登録制)

② なごやか営農グループ (組合員組織)



☆酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) に出役頂ける 56 歳以上 65 歳未満の男子及び 20 歳以上 65 歳未満の女子

③ すこやか営農グループ (組合員組織) ~酒人老人会のメンバー



☆シルバー世代の酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) の一部を担当頂くグループ

④ やすらぎ営農グループ (ボランティア) ~酒人敬老会の大関・横綱グループ

☆囲炉裏端会議のメンバーで、雑草取りの名人

農事組合法人酒人ふあ～む組合員名簿

平成 26 年 2 月 23 日 現在

No.	垣戸	コード	組合員名	No.	垣戸	コード	組合員名
1	上 (10)	101		31	中 (5)	401	
2		102		32		402	
3		103		33		404	
4		104		34		408	
5		105		35		409	
6		106		36	寺 (6)	501	
7		107		37		502	
8		108		38		503	
9		109		39		505	
10		110		40		506	
11	清水 (8)	201		41		椎名 (9)	507
12		202		42	601		
13		203		43	603		
14		204		44	604		
15		205		45	605		
16		207		46	607		
17		208		47	608		
18		209		48	610		
19	奥出 (12)	301		49			612
20		302		50		613	
21		304		51		北出 (4)	701
22		305		52	702		
23		306		53	703		
24		308		54	706		
25		309		55	八 (2)	805	
26		311		56		809	
27		313					
28		314					
29		315					
30		316					

【表紙の解説】



小学生農業体験（田植え）



酒人田園環境愛護会



小学生農業体験（稲刈り）



すこやか営農グループ（大豆）



すこやか営農グループ・なごやか営農グループ（小菊）



すこやか営農グループ（いちじく）



すこやか営農グループ（露地野菜）



なごやか営農グループ（ハウス野菜）



酒人消防団



オペレーター（草刈り総出）



収穫感謝祭



営業用軽自動車



旧酒人公民館



農事組合法人 酒人ふあ〜む

2014年2月